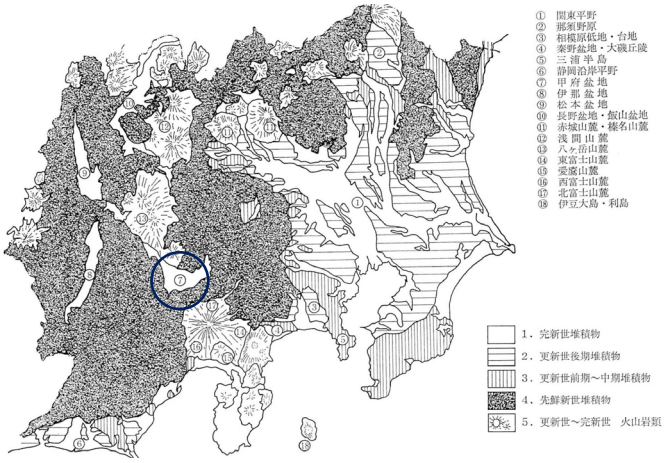
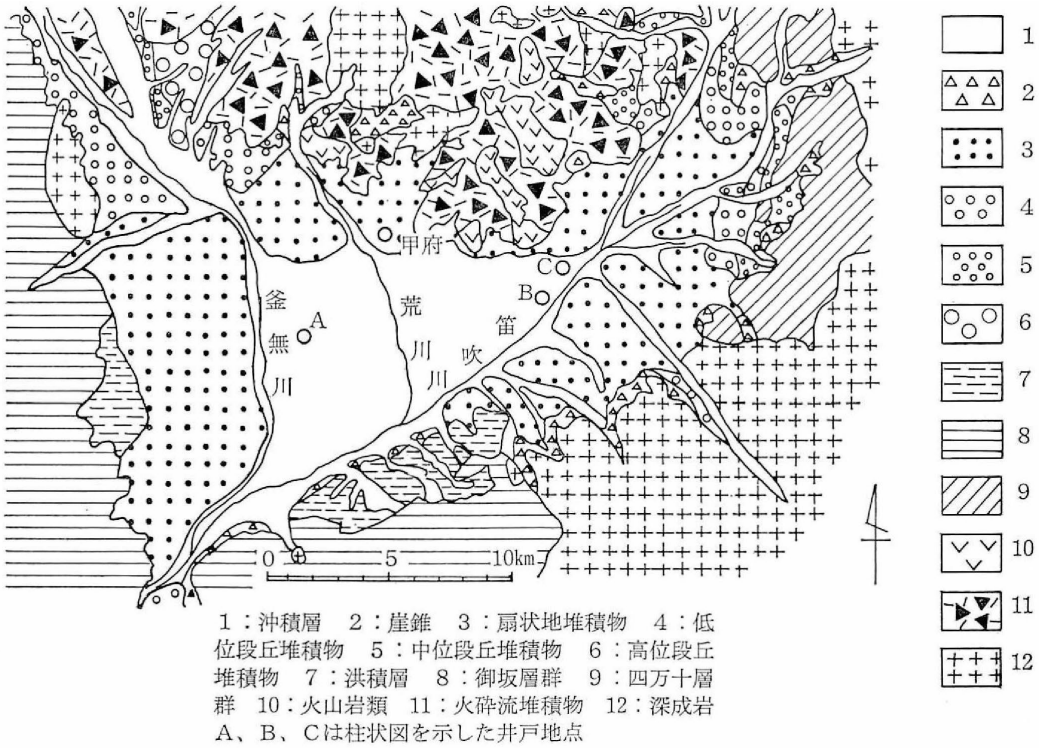
7.甲府盆地



地形・地質

甲府盆地は面積約 230km^2 の盆地で，かつて湖だったといわれています。盆地は釜無川や笛吹川及びその支川の搬入土砂により形成された 5 つの主要な扇状地からなります。甲府盆地の周囲の山地は，四万十層群とこれを貫く新第三紀の酸性深成岩を基盤とし，これを覆う鮮新世以降の火山噴出物を主とした地質から構成されます。



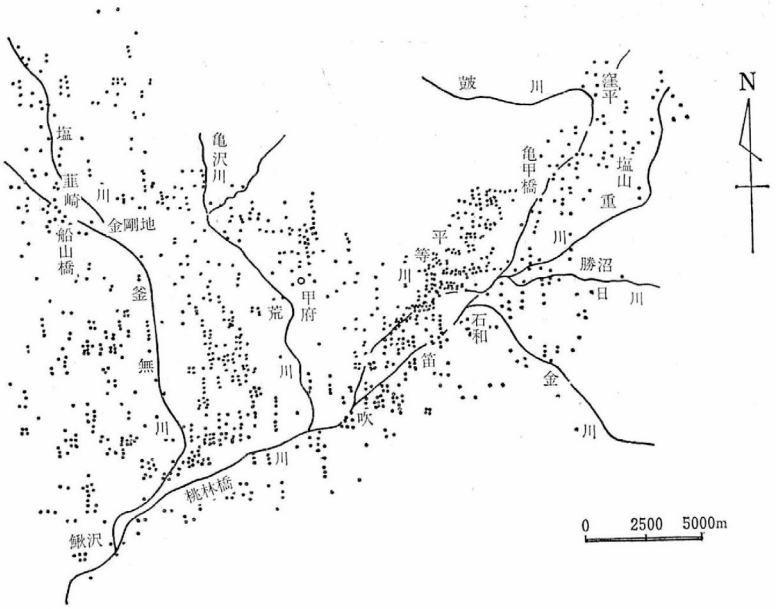
甲府盆地周辺地質図

地下水

扇状地堆積層は砂礫を主体とし，盆地における最も有能な帯水層です。また，水ケ森火砕岩類や曾根層の上部は有能な被圧帯水層となっています。

甲府盆地の地層層序と帯水層

地質時代		地層名	岩相	層厚(m)	地下水	用途
第四紀	完新世	沖積層	砂礫，シルト，含腐植粘土	30	不圧地下水	主として家庭用雑用水
		崖錐堆積物	砂礫(角礫)，砂，粘土			
		扇状地堆積物	砂礫（分級不良）	40	不圧，被圧地下水	家庭用雑用水，農業用水
	更新世	段丘堆積物	砂礫，粘土			
		韮崎火砕流	安山岩質火砕流	130	被圧地下水	
		曾根層	砂礫，シルト，火砕流	200±	〃	水道，工業，農業用水，温泉
		黒富士火山岩類	安山岩・安山岩質火砕流	400	〃	
第三紀	鮮新世	水ケ森火砕岩類	安山岩質火砕流	840＋	裂か水，被圧地下水	水道，工業，農業，その他用水，温泉
		水ケ森火山岩類	安山岩類，凝灰角礫岩		裂か水	温泉
	中新世	御坂層群	安山岩，凝灰角礫岩，砂岩，泥岩		不透水性基盤	
先第三紀		四万十層群	頁岩，砂岩，礫岩，輝緑凝灰岩			



甲府盆地の井戸分布図（1974 年）

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）